

令和7年度 第13回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和8年1月24日（土）9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市総合福祉センター2階 集会室
- 3 出席者 子ども会議委員7名、事務局2名
- 4 活動内容 子どもの権利トークイベントに向けて
- 5 開催概要

子どもの権利トークイベントの準備を行った後、リハーサルをして流れの確認等を行いました。

子どもの権利トークイベントに向けて

まずは、お楽しみコーナーで使用する物品の準備を行いました。「意見BOX」で使用する箱を作るグループ、「けんりはかせを探せ」で使用する「けんりはかせ」に紛失防止の数字シールを貼るグループ、「スノードームづくり」の見本を作成するグループ、「紙コップもぐらたたき」の紙コップに「けんりはかせ」などのキャラクターを貼るグループの4グループに分かれて作業を進めました。どのグループも手際よく作業を進めるとともに、新しいアイデアを出し合いしながら取り組み、すべての準備を予定どおり終えることができました。早めに作業を終えたスノードーム作りのグループは、トークゲームで行うディスカッションのトークテーマの候補決めを行いました。前回までに話し合って決めた「ふつうって何だろう？」「安心できるときはどんなとき？」などに加え、「ルールや決まりは必要？」「友達って必要？」など、合計8つのテーマを候補として決定しました。当日は、これらの候補の中から参加者と一緒にトークテーマを選び、自分の話したいテーマでディスカッションを行う予定です。



次に、当日の役割決めを行い、司会進行、司会進行補助、各ゲームの担当などを決定しました。決まった役割のもとリハーサルを行いました。アイスブレイクでは、昨年度も行った「煮干しラーメンを作ろう！」と今年度新たに行う「頭を使う！サイコロゲーム」を実際にやってみました。どちらも盛り上がり、所要時間も丁度良かったので、本番も同様に行うことになりました。

トークゲームは、「子どもの権利条約ゲーム」と「ディスカッション」を行い、当日使用しないテーマの中から多数決でテーマを選び、本番より短い設定時間で話し合いの練習を行いました。どちらのトークゲームでもたくさん意見が出されていました。話し合いの流れを確認しながら実施し、最後にはグループで内容を取りまとめ、発表まで行うことができました。



今回は、トークイベント本番です。参加者に楽しんでもらえるように盛り上げながら、子どもの権利のさらなる周知に繋がるイベントになるようにしたいと思います。